別府大学新学生寮について

新築の学生寮、ファンビレッジ寮







鉄筋コンクリート造の 4 階建てで、部屋数は 100 室!各部屋に机、椅子、ベッド、ユニットバス、シャワー、トイレ、収納、そしてエアコンも完備です。各階には、談話室だってあります。防犯対策にも気を使っており、防犯カメラが設置され、非接触カードキーによる「玄関」ー「各階フロア入り口」ー「自室」と 3 重施錠の構えをとっています。門限は 23 時。放課後のアルバイトも可能です。

史学・文化財学科 **年間スケジュール**

4月 入学式

第一次オリエンテーション 第1回オープンキャンパス*

5月 第二次オリエンテーション

6月 史学研究会大会

7月 第2回オープンキャンパス* 8月 第3回オープンキャンパス*

0月 3年牛進路懇談会

11月 史学研究会学生部会発表会

4年牛卒業論文提出

3月 卒業式

※ 令和 2 年度は、コロナ・ウィルスの流行で日程が変更される可能性があります。ご参加の際には、必ず別府大学Webサイトにて日程をご確認ください。

2020年オープンキャンパス予定

4月26日(日)

渡邊 智恵美 先生【枝銭って何?科学の目で観る古代の金属製作技術】

中央アジアで発明された青銅製品の製作技法は、古代中国から朝鮮半島を経て弥生時代に日本に伝わりました。史学・文化財学科の考古学・文化財科学コースでは、X線透過試験装置をはじめ、さまざまな自然科学的な分析装置を使って文化財の材質や製作技法、損傷状態などを調査しています。今回は古代の銅銭に実際に触れながら「どんな方法で作られたの?」、「どんな金属材料を使っているの?」などについて考える講義です。

7月19日(日

飯坂 晃治 先生【クレオパトラはどのような人物であったか】

いわゆる「クレオパトラ」として知られるクレオパトラ7世は、エジプトのプトレマイオス朝の最後の女王です。クレオパトラといえば、しばしば「世界三大美女」の一人に挙げられるほどに美しく、カエサルとアントニウスという2人のローマの権力者を誘惑した女性として知られています。しかし、彼女の事績について伝える史料は、彼女の死後に書かれたものがほとんどで、なおかつ、彼女と敵対したアウグストゥス(オクタウィアヌス)の宣伝の影響を受けています。したがって、彼女に関してはネガティブで、ときに侮蔑的なイメージが伝えられているのです。では、クレオパトラとはどのような女性だったのでしょうか?この模擬授業では、クレオパトラの人物像にせまりたいと思います。

8月22日(土)

赤松 秀亮 先生【中世の記憶をたずねて - ムラ歩きのすすめ -】

高校日本史の教科書をひらくと、歴史上の有名人物や出来事、年号などがたくさん書かれています。多くの高校生にとっては、それらを覚える=日本史を勉強することなのではないでしょうか。しかし、教科書に載っている出来事や年号は日本史のでく一部に過ぎません。たとえば、教科書に載っていない身近な地域の歴史はどのように知ることができるのでしょうか。この授業では、中世(平安時代後期〜戦国時代)の記憶をたずねて現代のムラを歩くなかで見えてくる地域史の魅力をお伝えし、単なる暗記にとどまらない日本史の奥深い世界を垣間見たいと考えています。

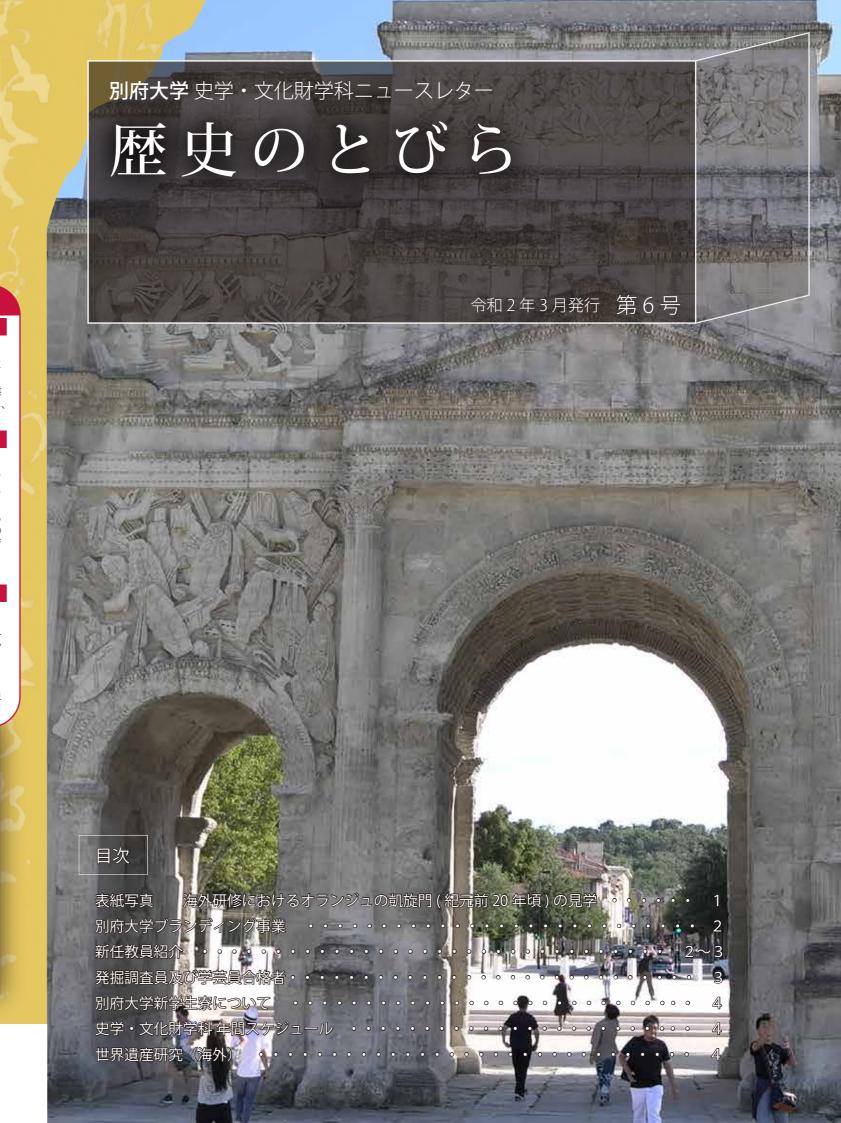


海外研修で北イタリア・南フランスへ 〜海外現地調査の重要性を学ぶ〜

2019 年 9 月 3 日~9 日に、本学科の学生 36 名が国外研修で北イタリアと南フランスに行きました。北イタリアではフィレンツェ、ヴェネツィア、ミラノを訪れ、中世の建築や美術にふれました。南フランスではニーム、オランジュ、アヴィニョンを訪れ、ポン = デュ = ガールなど古代ローマの遺跡や中世の旧教皇庁を見学しました。有名な建造物や遺跡を現地に行って直接見ることで、多くのことを学ぶことができました。また、海外の言葉や生活文化にもふれ、貴重な経験を得ることもできました。



〒874-8501 大分県別府市北石垣 82 TEL 0977(67)0101 FAX 0977(27)6117 URL http://www.beppu-u.ac.jp/



別府大学ブランディング事業

『被災文化財の修復と保存』―東日本大震災と九州の自然災害を通して― を連携事業として開催









「九州における文化遺産保護研究の拠点形成のための基盤整備事業」(平成28年度採択文部科学省補助事業私立大学研究ブランディング事業)は、平成30年に終了しましたが、令和元年度以降も別府大学研究ブランディング事業として展開しています。

令和元年度の活動としては、東日本大震災で被災した文化財のレスキュー活動を実施している「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会」との共同プロジェクトとして「『被災文化財の修復と保存』一東日本大震災と九州の自然災害を通して一」を企画しました。この企画には、これまで私立大学ブランディング事業で組織いたしました、九州各県の自治体で構成される「九州文化財保存推進連絡会議」と「九州文化財保存学研究会」とも連携事業として開催いたしました。

本企画では、岩手県陸前高田市立博物館を中心に津波被災を受けた博物館資料に対する、これまでの安定化処理技術構築の流れと成果を、本学の附属博物館本館にて特別展を行いました。また、それに関連した、東日本大震災で津波により被災した文化財資料の安定化処理を実際に行うワークショップとシンポジウムを行い、文化財の津波被害状況と現状についての講演、九州でおこった自然災害により被災した文化財についての被災状況と復旧状況について討論いたしました。

これらの企画のほかに、前事業から継続した共同研究や受託研究 も活発に行っています。中でも各自治体と一緒に実施している、熊 本城石垣の3D計測調査や日出城石垣の3D計測など、各研究カテゴ リーを受け持つ研究室がそれぞれ取り組んでいます。

発掘調査員 及び 学芸員合格者(正採用)

九州を中心に、別府大学の卒業生が活躍しています!

ここ7年間で86名の合格者を出しています。現在、西日本を中心に約500名の本学OBが正採用職員として発掘 調査員及び文化財担当者・学芸員として働いています。

平成 25 年度 【福岡県】 春日市教育委員会 筑紫野市教育委員会 那珂川市教育委員会 柳川市教育委員会 【佐賀県】 小城町教育委員会 【熊本県】 熊本市教育委員会 南関町教育委員会	平成 26 年度 【福岡県】 新宮町教育委員会 筑紫野市教育委員会 【佐賀県】 佐賀県教育庁 【長崎県】 佐世保市教育委員会 【熊本県】 熊本市教育委員会	平成 27 年度 【福岡県】 鞍手町教育委員会会行橋市教育委員員会会会会長会と「佐賀市教育委員員を持ちず教育委員会会を「長崎県」では、「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	平成 28 年度 【福岡県】 北九州芸術文化振興財団東峰村教育委員会 那珂川町教育委員会 宗像市教育委員会 八女市教育委員会 「佐賀県教育庁 佐賀県教育庁 佐賀県教育方	平成 29 年度 【福岡県】 那珂川町教育委員会 【佐賀県】 佐賀県教育庁(2名) 佐賀市教育委員会 【宮崎県】 宮崎県教育庁 【鹿児島県】 鹿児島県教育庁	平成 30 年度 【福岡県】 朝倉市教育委員会 苅田町教育委員会 筑紫野市教育委員会 吉富町教育委員 長崎県】 大村市教育委員会 平戸市教育委員会 【熊本県】 熊本中観光文化交流	令和元年度(暫定) 【佐賀県】 白石町教育委員会 【長崎県】 佐世保市教育委員会 島原市教育委員会 「熊本県】 熊本県教育庁 【宮崎県】 西都市教育委員会 【鹿児島県】
那珂川町教育委員会柳川市教育委員会【佐賀県】 小城町教育委員会 【熊本県】 熊本市教育委員会	【佐賀県】 佐賀県教育庁 【長崎県】 佐世保市教育委員会 【熊本県】 熊本市教育委員会	行橋市教育委員会 【佐賀県】 唐津市教育委員会 みやき町教育委員会 【長崎県】 雲仙市教育委員会	那珂川町教育委員会 宗像市教育委員会 八女市教育委員会 福津市教育委員会 【佐賀県】 佐賀県教育庁	佐賀県教育庁(2名) 佐賀市教育委員会 【宮崎県】 宮崎県教育庁 【鹿児島県】	筑紫野市教育委員会 吉富町教育委員会 【長崎県】 大村市教育委員会 平戸市教育委員会 【熊本県】	佐世保市教育委員会 島原市教育委員会 【熊本県】 熊本県教育庁 【宮崎県】 西都市教育委員会
合計 14 名	合計9名	合計 15 名	合計 19 名	合計6名	合計 17 名	合計7名

ここ数年、自治体を中心に文化財担当者や学芸員、特に発掘調査員の募集が多く、本学科の就職状況も活況を 呈しております。このような流れは、今後もしばらく継続するようです。令和元年度は、7名の合格者をだすことができました。

新任教員紹介



飯坂 晃治 先生 西洋史(ローマ史)

私は別府大学で西洋史を担当しています。なかでも専門としているのは、古代ローマ史です。 ラテン語で書かれた碑文を読み解きながら、ローマ帝国時代のイタリアにおける地方都市の自治 について分析しています。ときには実際にイタリアに行き、各地をめぐって実際の碑文を見るこ ともあります。大学院生時代にイタリアに留学していたので、この現地調査は毎回楽しみです。

私の専門は古代ローマ史ですが、演習(ゼミ)はヨーロッパ・アメリカ史全般を対象としています。演習では、様々な国や地域の歴史に関心を持つ学生が、それぞれの研究成果を発表します。 卒業論文も、「ローマ軍の役割」や「魔女狩り」、「第二次世界大戦」など、古代から現代にいたるまでの様々なテーマが研究対象となっています。

ちなみに私は、北海道で生まれ育った純粋な道産子です。40代なかばにして、はじめて北海道の外、しかも九州に移り住むことになりました。別府に来て3年になりますが、まだまだ慣れないことばかりです……。



宮崎 聖明 先生 東洋史(宋・明史)

みなさん、はじめまして! 史学・文化財学科(世界史コース)准教授の宮崎聖明(みやざきとしあき)です。2019年4月に別府大学にやって来ました。専門は中国史です。特に10世紀以降、宋の時代からあとの政治史・政治制度史を中心に研究しています。

生まれは兵庫県・西宮市……というとピンとこないかも知れませんが、「甲子園」と言えば分かってもらえますか?実家からは球場の歓声がよく聞こえます。出身大学は北海道大学(飯坂先生とはほぼ同級生!)で、大学に入ってからはずっと札幌暮らし。ですので、好きなスポーツチームはタイガースではなく、北海道コンサドーレ札幌。トリニータとの試合も応援に行きましたよ、負けたけど(笑)

趣味はランニングです。写真は2018年6月、サロマ湖100kmウルトラマラソンの時のものです。最近はトレーニングをサボり気味ですが(苦笑)、今度は別府大分毎日マラソンに出たいですね。目標はフルマラソン3時間切り。教育、研究、ラン、いろいろ頑張ります!